

FRIENDS

 **The Friendship Force of Saitama** 会報 第60号 (2004)

初めてのアジア交換 ソウルから 21 名のアンバサダー受け入れ

ED 細矢 康子

今回の交換は、FF埼玉クラブではアジアの国からの初めての受け入れでした。日本に何度もいらっしゃっている方が多い中で、どのようにお迎えしたら喜んでいただけるのかと思ひながら、初めてのEDとして不安を抱えながらのスタートでした。

今は無事プログラムも終わり、皆様が元気で楽しく帰国された報告を受けとり、うれしく思っています。ホストを引き受けてくださった会員の皆様、デイホスト、交換委員の方々、パーティーに参加いただいた皆様のご協力によるものと本当に感謝しております。

4日間の北海道旅行を済ませてから羽田へ到着するグループと、直接ソウルから成田へ着く、二つのグループに分散しての埼玉への到着ということで心配していましたが、ON

ライナーの大宮駅にほぼ同時に着きほっとしました。

ソウルクラブの会長、EDはじめ年配の方は日本語も上手に話され、読み、書きも、私たち以上に敬語も上手に使われていました。今回のゲストとの交流で、この点が最も相互理解に役立ったのではと思います。私たちが失ってしまった良い面を持ち続けている反面、韓国の若い人たちとの間にもジェネレーションギャッ

プが生じていることなど、お互い会話を通しながら感じられました。

日本を何度も訪問されている人が多いので、プログラムも東京見学よりも日光バスツアーを希望され、この時期にも関わらず、天候にも恵まれた楽しい一日を過ごしました。

私たちの日常生活に浸透している「韓国料理」。料理を通しての文化交流は和やかに進み、フエアウエルパーティーにはたくさんの日韓料理が並べられました。

両クラブの会員の皆様の腕を振った料理の味を楽しみながらのパーティーは良い思い出になりました。この日のため食材を運んでこられたソウルクラブの方々にも感謝いたします。そしてチマ・チョゴリを着られたソウルクラブの女性は、パーティーを一層華やかなものにしてくださ



華厳の滝を背景にアンバサダーと埼玉クラブ会員

いました。

違いを知り、認め合い、この交流で「近くて遠い国」から「近くて近い国」へと距離が縮まったような気がします。

この交換から今後も両国の文化の交流がいつまでも続くことを望みます。

ソウル交換反省会

交換終了直後の6月12日、ホスト・交換委員・理事が集まり、ソウル受け入れ反省会が開かれました。

先ずEDから次のような報告がありました。

- ・「今までになかった交換が出来た」という、ソウルEDからの喜びのFAXの披露。
- ・予算内で活動できてよかった。

ホストの皆さんからもいろいろな感想を聞かせていただくことができました。その中でも「2年ぶりにホストしたが、親しく、楽しく感じながらホストできた」、「到着早々5種類もの韓国料理をつくっていた、家族のみならずご近所の人たちとも楽しめた」等、その多くが楽しんでホストをしてくださった報告でした。また、「楽しく過ごしていただけたものの、ハードな日程に疲れたようなので、年齢を考えたもつとゆっくりさせてあげられたらよかった」、「アンバサダーの交通費を払ってあげたが、一緒に行動したアンバサダーは自払いだった。配慮が足りなかったと思った」などという反省の弁も聞かれました。

あるいは、こんな意見も聞かれました。「我が家に着いてから、タバコと犬が大嫌いということが分かった。偶然我が家は犬もいないし、タバコも吸わないが犬のいる家にマッチングされたらどうなったのだろう。このようなケースの場合、事前に情報がほしいわけですが、アンバサダー自らがその情報をEDに知らせなければ、EDでさえも分からないことでしょう。逆に私たちが渡航に参加する場合、申込書にいろいろな情報を伝えましょう、ということをお教わられたケースではないでしょうか。

この交換は「日本語が通じたので言葉に疲れないで楽しめた交換」といえそうです。そして、近い民族意識を感じ、韓国をもっと知りたいと感じた方があったほど身近な交換だったようです。

交換委員の方からは

- ・計画から携わるとそれなりに交流ができて楽しめた。
- ・料理ごとに材料をきちんと分けて用意したので、みんながすぐに取りかかれた。
- ・思った以上に新しい会員がパーティーに出席してくれてよかった。
- ・マイクの調子が悪かった
- ・盆栽村見学では男性が車を分車し案内してくれたので、女性は安心して料理の用意が出来た。

などのご意見が聞かれました。

今後の交換につなげることとしては

- ・何組かのアンバサダーがグループで行動する時には、交通費等ホスト同士で話し合い、アンバサダーに寂しい思いをさせないように配慮するとよいのではないかと。というようなことが話し合われました。

料理交流会で披露された韓国料理

チャプチェ...きくらげ、きゅうり、にんじん、春雨などの材料をそれぞれ炒め、ゴマ油、砂糖、醤油などで味付けし、最後にすべての具を混ぜ合わせる
ブルコギ...韓国で最もポピュラーな焼肉。やや甘辛な味付けのタレに漬け込んだ牛肉を炒める
パジョン(チヂミ)...韓国風のお好み焼き



民族衣装も華やかに、歌を披露

さいたま市国際友好フェア

連休真っ只中の5月3日・4日、さいたま市国際友好フェアが市民の森、見沼グリーンセンターで開催されました。会員の皆様方にはたくさんの物品を提供していただきありがとうございました。当日は2日間ともMay Stormの強い風の中、会場で多くの皆さんが埃まみれになりながらお手伝いをしてくださいました。

会員一丸になってのバザー参加は毎年好成績をあげ、今年も10万円近い収益を上げることが出来ました。この貴重な収益は、理事会で充分審議され有効な使途が考えられることと思います。国際友好フェアのバザーはFF埼玉にとって貴重な財源確保の場です。来年のバザーに向け、皆さんには今から心がけていただきますよう、よろしくお願いいたします。



盛況だったバザー

訃報

The Friendship Force の創設者、Wayne Smith 氏が現地時間6月16日夜、Georgia州 Big Canoeのご自宅でお亡くなりになりました。(享年69才) Smith 氏のご冥福をお祈りするとともに、氏の唱えた“World of friends is a world of peace”の精神をいつまでも絶やさずに持ち続けていきたいと思います。

第18回日本大会

2004年5月22日・23日

於東京芝パークホテル

第18回の日本大会は、東京クラブがホストクラブとなり、芝パークホテルで開催され、埼玉クラブからは下記の8名が参加されました。会長は代表者会議に、他の参加者は各分科会に別れて出席し、有意義な話し合いをしてきました。

埼玉クラブ参加者（敬称略）

青笹安弘 岸田節子 児島英子 佐藤ゆきえ
沼純子 野澤明子 細矢康子 堀内美紀子

FFIより

George Brown 会長

Debbie Powell プログラムコーディネーター

TFF活動支援日本委員会より

愛知和男 石井嗣代

代表者会議報告

第1議題：支援委員会と支援委員会への補助金について

「支援委員会」に関する議決事項

本年1月5日支援委員会を解散したいとの愛知和男氏の申し出でに対し、いかに対応するかについて審議した結果、全員一致でこれを了承することを議決した。

これまでの愛知和男氏のご支援に対し感謝状を贈呈することについて審議し、全員一致でこれを了解することを議決した

「支援委員会への援助金」に関する議決事項

本件は今後「TFF全日本の運営費」として位置づけ、TFF全日本事務局（仮称、別途協議）が徴収する。

2000年度の未納クラブ（熊本クラブ）には速やかに納入してもらい、2003年度納入8クラブの納入金は2004年度の納入金として振り替える。残り16クラブは2004年度分を納入する。従って2003年度分は全クラブ納入しないこととする
徴収単位である「会員」はクラブ会費を納入した世帯単位とする。

第2議題：フィールド・レップ(Field Representative)

FFIからの強い要請を受けて「FFIあつてのTFF全日本各クラブである」という立場で日本のField Repを審議し、その組織を設置することに合意した。Field Repコーディネーターに石井嗣代氏を、Field Repに村田英男氏、鈴木美津子氏をFFIに推薦することを議決した。なお、西日本ブロック、関東ブロックからの推薦是非については今後のブロック会議で検討する。



George Brown 会長、Debbie Powell スタッフと

第3議題：TFF全日本のホームページ

昨年の世界大会で郡山クラブがPublic Relations賞を受賞している。その表彰理由はTFF全日本のホームページの開設及び維持に郡山クラブが中心的な役割を果たしたことがあげられている。この事実と各クラブのホームページに対する期待を勘案し、正式に「TFF全日本のホームページ」として認知することを代表者会議で議決した。このホームページの活用により、日本のクラブの紹介等が、スムーズにかつ効果的に行われることが期待される。

第4議題：日本大会引き受けクラブ

原則として、各ブロック別に持ち回りで引き受けることとし、引き受けブロックの順序は関東ブロック、中部ブロック、北日本ブロック、西日本ブロックとする。不都合がある時はその時に検討する。ブロックの事前検討結果にもとづき2年前の日本大会代表者会議で決定する。2005年は大阪クラブ、2006年は山形クラブに決定した。

第5議題：TFF全日本の今後のあり方

Field Repコーディネーターに任命される予定の石井氏に今までやってきていただいた支援委員会的業務を引き続き担当してもらうことをお願いする。ただし、代表者会議議長業務と各クラブが出来る業務は除く。

ここで時間切れとなり、代表者会議議長業務とTFF全日本事務局業務に関しては、「TFF全日本」の組織、「TFF全日本」の呼称、その他の事項と共に今後の継続審議事項として、次の日本大会引き受けクラブである大阪クラブに引き継ぐこととした。



分科会報告

第1分科会 「受け入れ」

*ホストとアンバサダーとのトラブル

- ・情報不足でのトラブルが多い...来日して初めてハンディキャップを持つ人とわかった。EDは自立しているから普通どおりにしてほしいとの事だったが。
- ・英語圏でない国の受け入れは、情報を得るのに大変
- ・FFの精神が理解されていないアンバサダーは観光とショッピングに走りやすい。また、「ありがとう」の気持ちがみられない。
- ・受け入れ側の情報も十分に知らせなければならない。都会でたくさんの階段を歩かされたと不満を訴えた。

ホストをすることで、アンバサダーになったとき心がけるべきことが良くわかる。

第2分科会 「渡航」

*よい渡航交換をするためには

1. ワークショップをしっかりと行う
相手国について勉強会をする
 - ・歴史、風俗習慣、簡単な言葉など3~4回
 - ・日ごろから自国、特に自分の住んでいるところの勉強をしておく
アンバサダー同士がまとまって旅行するために準備する
 - ・EDを助けるために役割分担をする(次のEDを育てるためにも)
 - ・出し物を決め練習する
 - ・みやげ用の小物を和紙や布で一緒に作る
2. 望まれるアンバサダーになるためには
 - ・自己管理をする。特に健康管理について
 - ・自分の基準に合わせない 相手の文化を大事に
 - ・自分の意思をはっきり相手に伝える Yes Noをはっきりさせる
 - ・団体行動なので常識をわきまえた行動をする
3. トラブルや事故への対応
 - ・ボランティア保険でどの程度カバーできるか調査する
 - ・FFの場合、どこまでがボランティア活動か、プライベートな部分か線を引くのが難しい
 - ・空港でドラッグの荷物を預かたりしないよう注意が必要
4. EDの費用(旅費)をどのようにしているか
 - ・20名以上集めED分を無料にする
 - ・1/2クラブ負担、1/4渡航者負担、1/4ED負担
 - ・1/2渡航者負担
 - ・EDが全額負担
5. みやげの件(クラブからクラブへ)
 - ・いただいたみやげを誰が保管するか問題
 - ・各EDが保管しているが置き場所に困る
 - ・10周年の折に全部展示した

・ED同士が話し合って訪問先の福祉施設に寄付
FFの精神を良く理解し、渡航の折だけではなく、交換後も友情を続けることが出来るよう、人と人のつながりを大切にしていける必要がある。普段から色々な勉強会を催すことも必要。

第3分科会：「会員交流」

- * T F F 日本大会、渡航・受け入れに参加してその機会をとらえ友達になる。そして個人交流を深めていく中で、その輪をクラブの内にも、他クラブの友達にも広げていき、クラブとクラブの交流に発展させるのがよい。 個人同士の信頼が大切
- * 日本で受けた温かい好意に感謝してとてもよくしてくれた、と他クラブからお礼の連絡があった これがFFの大切な交流のよい例

第4分科会：「T F F ホームページ」

代表者会議でオフィシャル・サイトとして認知を受けたので、オーストラリアFFの例を参考にT F F 日本全体のホームページを作ったらどうか。

内容は

1. 日本の一般人向け、PR用などを内容としたページ。(国内でFFがどんなものか理解してもらえそうなページ)
2. 英語版のページ...世界中の国からアクセスしたときに日本のことが分かるようなページ。
3. 会員間の Discussion Room として使えるページを作ったらどうか。一つは代表者会議レベルのもの、もう一つは会員間レベルのもの

第5分科会 「記念誌編纂、周年行事」

- ・クラブ継続発展のためには記念誌で記録し歴史を残していく・上手なPC活用を取り込んでいく
- ・知恵を出し合って活動を進めていく

記念誌発行：愛媛クラブ・岐阜クラブ・埼玉クラブ・山口クラブ・郡山クラブ・東京クラブ

周年行事：

愛媛クラブ...「大人のホームステイ展」(10周年)
「FFによるホームステイに関する講演とシンポジウム」(15周年)
会員がパネリストとなり、FFの歴史や意義とホームステイ体験を発表した。特に英語の得意でない方の体験談が好評だった。

埼玉クラブ...祝賀会(5周年)

ドイツ・リュウベッククラブをお招きして記念祝典・祝賀会と記念植樹。
(10周年)

東京クラブ...20周年記念式典を開催。その際、貢献された会員に表彰状と感謝状



英会話レッスン

Keyword - 3

7月のミンスク渡航は残念ながら中止となってしまいました。今年渡航を考えていた方は下記のような交流の機会があります。いずれも個人参加ですが、詳細は事務局までお問い合わせください。(048-651-2210)

Malta Friendship Festival

期 日：2004年9月13日(月)～20日(月)

参加費：US\$1,895

場 所：Golden Tulip Vivaldi Hotel

美しいマルタ島でのフェスティバルは、この地にFFを組織しようとする新しいリーダーと、世界各地から集まったFFメンバーが2泊のホームステイを通して住人にFFの良さを実証し、FFを設立しようとするものです。3日間の観光も含まれています。

Charleston Friendship Festival (SC)

期 日：2004年9月26日(日)～30日(木)

参加費：US\$695(ホテル4泊とその他の費用)

場 所：Mills House Hotel

9/26 Welcome Dinner

9/27 Morning City Tour Local culture

9/28 Plantation や古い庭園訪問

9/29 South Carolina Day

9/30 Ambassadors 帰国

FF 28th International Conference

期 日：2004年11月4日(木)～7日(日)

参加費：US\$550(8/6までの申し込み)

US\$575(8/6以降の申し込み)

場 所：Warner Center Marriott Hotel

Los Angeles, California, USA

Asia Pacific Festival

期 日：2005年5月8日(日)～12日(木)

参加費：US\$650 (Festivalのみ)

US\$725 (Festival + Homestay)

場 所：West's Executive Inn(Newcastle, Australia)

シドニーの北 160 kmのニューキャッスルで開催されるフェスティバルは過去に開催されていたアジア大会に代わるものです。

ニューキャッスルはハンターバレイ・ワイナリーへの入り口にあたり、近くには、マックオーリー湖の運河やドルフィン・ウオッチングで有名なポート・ステューブンス湾など見どころいっぱいです。

FF 埼玉のホームページができました。

URL: www.h7.dion.ne.jp/~saitama/ または

www.friendshipforce.jp/ からアクセス

FFI: www.friendshipforce.org/

be

be は日常会話でもっともよく使われる動詞です。

基本的機能 2つの要素をリンクさせる。

I'm + 形容詞

I am a Japanese. (私 = 日本人)

You are smart. (あなた = 頭がいい)

というように、be の前後の要素をリンクさせる働きがあります。今回は「I'm + 形容詞」のパターンを勉強しましょう。

I'm sure... きっと...だ。

I'm sorry... ごめんなさい。

I'm afraid... 残念ながら...だと思ふ。

I'm glad... ...でうれしい。

I'm happy... うれしい。

後に文やフレーズが続いて、感想を言うような表現が多い。

練習

1. **I'm sure you will win.** きっと勝つよ。
 2. **I'm sorry to hear that.** それはお気の毒です。
 3. **I'm afraid I can't go.** 残念だけど行けないと思う。
 4. **I'm glad to see you again.** またお会いできて嬉しいです。
 5. **I'm so happy for you.** おめでとう、本当によかったね。
 6. **What is your occupation?** お仕事は何ですか？
 7. **He is a civil servant.** 彼は公務員です。
 8. **Is he a student?** 彼は学生ですか？
 9. **Who is there?** どなた？
It is Alicia. アリシアよ。
- お互いに姿が見えないときには、I'm Alicia.ではなくて It's Alicia.と答えるのが普通。
10. **I'm glad you are here.** あなたがここにいてうれしい。
 11. **I'm sorry. I'm late.** 遅くなってごめんなさい。

新しいお仲間をご紹介します。(敬称略)

浜	敬子	東村山市
稲垣	洋子	さいたま市
村田	利政	さいたま市
本間	博幸	さいたま市
阿部	佳奈子	東京都板橋区
牧野	慶子	所沢市
鈴木	征子	富士見市
高畑	美千子	東京都北区



CLUB CALENDAR

6月29日(火)	ハンドブック編集会議	7F 講座室 1	10:00~17:00
7月10日(土)	定例理事会	7F 講座室 1	10:00~
8月7日(土)	定例理事会他	7F 講座室 1	10:00~17:00
9月11日(土)	定例理事会及び交換反省会	7F 講座室 1	10:00~17:00

理事会報告

2004年4月10日(土)

報告事項

1. オーストラリア渡航について
 - ・19名渡航(高校生2名大学生2名を含む)交換参加が初めての人が9名
 - ・先方EDが趣向を凝らし、楽しめる配慮をしてくれた
2. ソウル受け入れについて
 - ・ソウルクラブは日光観光を希望
 - ・昼食をつけなければぎりぎりの予算(5000円)で出来そうだが、行事費から補助ができるか?
 - ・21名の受け入れ(13家庭)
3. ミンスク渡航について
 - ・先月以来申込者の数は変化なし(4名)
4. ブラジル受け入れについて
 - ・現在進展なし。ソウル交換委員会でホストの依頼をする
5. 各係より
 - ・会計=月次決算は別紙。ソウル受け入れの補助に関しては予算を立ててからにしてほしい
 - ・事務局=日本大会に8名の申し込み。クラブ代表として会長を承認してほしい。(登録料9000+宿泊料9000を負担)
 - ・Club Fee 納入済み\$660。FFI会長にGeorge Brown 着任。さいたま市国際交流協会総会に野澤明子さん出席

審議事項

1. ソウル受け入れについて
 - ・予算案を検討の結果、20,000円の補助を決定
2. ミンスク渡航について
 - ・4月末まで募集を続け、定員に満たない場合は中止とし、その後の対応を審議する
3. さいたま市国際友好フェアについて
 - ・事務局作成の連絡網で理事が個別に連絡をとる。当日の手伝いもお願いする
 - ・4/29までに提供品を集め4/30に値付けをする(女性理事)
 - ・役割=ヨーヨー(野澤)会計(青笹・綿部)
 - ・飲み物仕入れ(児島・佐藤)バザー販売(堀内・細矢・沼・平井・岸田)
4. ハンドブックについて
 - ・理事会の後に時間を設けて編集する
 - ・6月~8月を目途とする
5. 渡航キャンセル料について
 - ・FFIの規定は\$25だが、為替の変動、手数料等を考慮埼玉クラブは従来どおり\$3000とする(再確認)

編集後記

梅雨が心配されたソウル受け入れでしたが、毎日さわやかな天候に恵まれ幸運でした。残り一つになったブラジル受け入れも成功させましょう。あらためて故Wayne Smith氏のご冥福をお祈りいたします。

理事会報告

2004年5月8日(土)

報告事項

1. オーストラリア渡航反省会について
 - ・反省会の報告があり、次の交換に活かされるよう詳細については事務局で保管
2. ソウル受け入れについて
 - ・4/2第2回交換委員会開催、5/8第3回交換委員会予定
 - ・21名 13家庭から22名 13家庭に変更(沼さん宅2名)
 - ・成田空港、羽田空港着の2班に別れて到着
3. ミンスク渡航について
 - ・4月末で申込者4名、5/4 ミンスクに中止を連絡
4. ブラジル受け入れについて
 - ・アンバサダーの入れ替えがあるものの30名のリストが届いている。それに幼児2名が追加された場合は32名
5. 国際友好フェアについて(5/3・5/4)
 - ・提供品、ヨーヨー、飲み物などの総売上詳細は別紙
 - ・全収益は97,474円
 - ・全会員に呼びかけ5/8打ち上げ(16:30)出席予定者18名
6. 各係より

会計=月次報告は別紙の通り。ハンドブックについて
 予算、内容について初めから検討してもらいたい
 事務局=会報59号、会員名簿を発行。Club Fee に対する会計からの補填が\$10,376円。Friendship マガジンに埼玉交換が大きく扱われた。Salisbury クラブから2006年訪問の打診があった。さいたま市国際NGO/NPO ネットワーク設立準備会に佐藤出席(4/13)。Susan Harrison、Harriet Kuhrの2名が4月末で退職

審議事項

1. ミンスク渡航中止後の対応について
 - ・新たなプログラムは計画しない
 - ・FFI フェスティバル等のプログラムを紹介し個人的な参加を促す
2. ブラジル受け入れについて
 - ・準備期間も短いのでソウル交換委員がスライドしてやってほしい
 - ・役はダブらないようにしたらどうか
3. その他
 - ・新会員2名(牧野慶子氏・鈴木征子(ゆきこ)氏)
 - ・2006年Salisbury クラブ受け入れを決定

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局
 〒337-0051 さいたま市見沼区東大宮 4-69-19
 TEL: 048-651-2210 FAX: 048-667-2796
 発行日 2004年6月28日 第60号